



令和4年度 会長賞全国1位



21HF03658 “エクセレントレディ号”
BC ♀ 砂岡正美鳩舎作翔

22年春東坂東連盟Rg 2,834羽中総合6位 入賞率:0.00212
 東坂東連盟地区N 1,500羽中総合4位 入賞率:0.00267

合計入賞率 **0.00479**

生まれ

- ・生年月日 …… 21年3月19日
- ・順番 …… 1番仔

鳩体

- ・大きさ …… 中
- ・主翼の形状 ……
- ・筋肉 …… 普通
- ・目 …… 銀
- ・性格 …… おとなしい
- ・体型 …… 普通
- ・腰の厚み …… 普通
- ・ベスト時の重さ …… 普通
- ・バランス …… 中間

作出の意図

- ・距離適性 …… 700K
- ・展開 …… 分速1200~1300m台
- ・タイプ …… 安定型



同腹 / 22年東坂東連盟Rg総合30位、地区N総合20位
 全兄弟 / 22年春東坂東連盟地区N総合2位

- ▶ 15MA02592 BC 宮内淑雅 作
直仔 / 500K6位、700K4位、5位
- ▶ “モーニングエース号” 09MA05773 BC 宮内 作翔
平成22年度日本エースピジョン賞全国1位
父 / 07MA54386 (ダックスIN5位・7位の“スーパーダックス” × 05年G.CH認定の“G.CHグッドモーニング号”)
- ▶ 11MA03409 BC 宮内 作翔
13年東京東連盟桜花賞1000K総合9位、GP800K2回
上記“モーニングエース号”父の同腹 ×
上記“モーニングエース号”の娘
- ▶ NL17-1117939 BC メース・ドーナカンパ 作翔
メルン3位、ロワ15位
- ▶ NL16-1375355 M・ドーナカンパ 作翔
メルンNPOセクターⅢ10,654羽中5位、オーデナルデ優勝他
- ▶ NL15-1530581 B M・ドーナカンパ 作
“プロアティム”(“オリンピックティム”の全兄弟 / “ブリリアントボーイ”の孫 × “ゴールデンボーイ”の孫)の直仔
- ▶ “ド・フィーネ” NL10-1488530 B M・ドーナカンパ 作翔
アプリス911羽中3位 直仔 / ムーランクール1,921羽中優勝
“ブリリアントボーイ” & “ゴールデンボーイ”の近親 ×
09年若鳩優秀賞3位 (“クライネディルグ”直系 & “クライネ”近親の直系 × 09年シャトゥーダン8,781羽中7位)
- ▶ “ド・ベヒフォーゲル”
NL12-1419462 BC M・ドーナカンパ 作翔
サンカンタン3,669羽中優勝 ヴィエルゾン982羽中優勝
ナンチュール5位、セザンヌ6位他
母 / 上記“ド・フィーネ”の父方祖母

の

東連盟・栃南連合会)



となる3羽目の「会長賞全国1位」が誕生——！

た中距離エースピジョン賞(以下AP賞)「会長賞」の頂点である「全国1位」。令和4年度の「中距離の王」は、これまで2羽の「会坂東連盟から誕生。同連盟では今年、2レース連続シングル鳩が2羽生まれ、ハイレベルな賞レースを展開。結果、コンマ03658」が選出されたのだ。そして今回も昨年まで4羽の「会長賞全国1位」(16年、18年、19年、21年)を作り出してきたファンいることが判明。しかも「AP×スピード」、「近親×近親」という配合式で作られており、ブラッドスポーツの方程式が複数見*砂岡正美鳩舎の現所属は「北関東栃南連盟 宇都宮東連合会」ですが、本稿内では授賞申請書に沿って「東坂東連盟 栃南連合会」と表記しています。

団体として最多となる
3羽目の「中距離の王」!

78年に笹川良一氏が当協会会長に就任したことを機に設立された「笹川名鳩賞」の継承タイトル「会長賞」。「公称400K以上」の春RGと「公称600K以上」の地区Nの2レースを対象としたAPTタイトルであり、授賞鳩は63ある連盟の上位1羽だけだ。そして合計入賞率が最も低いレーサーを「全国1位」として顕彰。名実ともに「中距離レーサー」の最高賞であり、それゆえに権威、そして人気と注目度も高い。

さて令和4年度は、58連盟の会長賞が誕生。うち「全国1位」を射止めたのは、RGで総合6位、地区Nで総合4位を取め、合計入賞率「0・00479」をマークした砂岡正美鳩舎(栃南)作翔の「21HF03658」である。なお東坂東連盟での会長賞全国1位は、平成26年度の釜井盛司鳩舎(宇都宮)、平成27年度の足澤秀昭鳩舎(宇都宮)に次いで3羽目。この数は団体として史上最多だ。また同連盟における今年の次点はダブルシングル入賞鳩と、会長賞争いが非常にハイレベルであったこと

作翔者・砂岡正美鳩舎のプロフィール
★レース歴/40年 ★鳩舎規模/種鳩120羽・選手鳩8坪140羽
★主力系統
★代表翔歴/300K、RG、600K、GP各総合優勝



とまで伺える。連盟自体すでに「名門」として認知されているものの、「中距離王国」という新たなフレーズがプラスされたといったところか。

さて新たな「中距離の王」こと「21HF03658」は、砂岡鳩舎の源鳩として、総合優勝鳩を複数羽誕生させ、東坂東連盟の強豪の地位を確立させたスカイラーケンス作「NL86-1196616」(*「ヨング・メルクス」の孫)の筋ではない。同鳩舎は13年に下

クターストップがかかるほどの大病を患ったことで、引退の決断をし全鳩放出。しかし担当医が驚くほどの回復をみせ、15年秋にも再開を果たしたのだが、その時に戦力を完全に入れ替えていたのだ。ゆえに受賞鳩の両親はいずれも種鳩用に導入したニューカマー。「父」AP、「母」スピード」という意識で配合したようである。

AP+スピード=中距離AP!
然るべき配合式と血統

令和4年度 会長賞全国1位 作翔者・砂岡正美鳩舎(東坂)

“名門”東坂東連盟 団体として史上最多

歴代会長賞全国1位受賞鳩及び受賞者一覧

年	受賞鳩 & 受賞者	合計入賞率
21年	“Ryōga453” 19XA13453 BC ♂ 住谷勝三鳩舎(ニュー近畿・豊中連合会)	0.00518
20年	————— コロナ禍による春レース中止で授賞なし —————	
19年	“令和ストロング号” 18KA10144 BC ♂ 船川勝信鳩舎(埼玉・埼玉連合会)	0.00460
18年	“キンバリー” 17LB04520 B ♀ 日暮義一鳩舎(千葉・房総連合会)	0.00321
17年	“石狩マスト号” 16HS00121 B ♀ 原田 弘鳩舎(つくばね・常陸石岡連合会)	0.00180
16年	“パーフェクト・ナショナル” 14MK04520 BC ♀ 原 正次鳩舎(東京多摩・東京湘南連合会)	0.00343
15年	14HF04926 B ♂ 足澤秀昭鳩舎(東坂東・宇都宮連合会)	0.00209
14年	13HF10148 B ♀ 釜井盛司鳩舎(東坂東・宇都宮連合会)	0.00189
13年	“アイアン・レディ” 12LB01045 B ♀ 日暮義一鳩舎(千葉・房総連合会)	得点2

Rgと地区Nの2レースを対象とし
長賞全国1位」を生み出した名門・東
差で砂岡正美鳩舎作翔の「21HF
ダイクの“カニバル”の血が流れて
られる然るべきレーサーであった!

21年が初交配だったというこの
ペアは受賞鳩自身、また同腹がR
g、地区Nのいずれでも1%台に
入賞していることから、「中距離
AP」という形で双方の特性が見
事に反映されていることがわか
る。ちなみに受賞鳩の登録はオス
となつているが、シーズン後に作
出してみたところメスであること
が判明。同腹もメスということ、

*14年度より完全入賞率制を導入

の母親は、メース・ドーナカ
ンプ(オランダ)の短距離&
中距離CH同士の娘。ドーナ
キャンは、当日長距離のナ
ショナルCHとして有名なハ

優秀だと言われている「同一性別」
で生まれたとのことだ。2番仔も
猛禽類の出没エリアで鳩舎を構え
ている中で、2羽とも地区Nに参
加。計3羽が帰還し、1番仔の2
羽が前述の通り、そして2番仔の
「21HF03781」は総合2位
に入賞———とこの配合はアタリ以
外何ものでもない。

受賞鳩の父親は宮内淑雅鳩舎
(東京江戸川)の作出鳩で、
同鳩舎の看板鳩である日本A
P賞全国1位(*平成22年度)
に輝いた「モーニングエース
号」の近親鳩だ。その父方祖
母にして雑誌社認定のAPの
最高峰「グラントチャンピオ
ン」の称号を得た「G・CH
グッドモーニング号」からす
ると3重近親である。他には
15年度の日本AP賞全国1位
「咲咲」を産み出した「スー
パーダックス」も絡んでおり、
砂岡鳩舎のイメージ通り「A
Pの塊」のような血統構成だ。

これに対して「スピード」
の母親は、メース・ドーナカ
ンプ(オランダ)の短距離&
中距離CH同士の娘。ドーナ
キャンは、当日長距離のナ
ショナルCHとして有名なハ

さらにこの母系(※NL17-1
117939)を深堀していくと、
コープマンの「クライネデルク」
を介してファンダイクの「ガニバ
ル」、またガビー・ファンデナベ
ルの源鳩「クライネン」の血がダ
イレクトに流れていることまで判
明。ちなみに前者の「カニバル」
は、これで4連続計5羽の会長賞
全国1位を産み出したこととなる。

最新の「中距離の王」、いや、女
王は、然るべき血液と配合によつ
て誕生したものだ。

【各連盟の受賞鳩の発表は14頁】